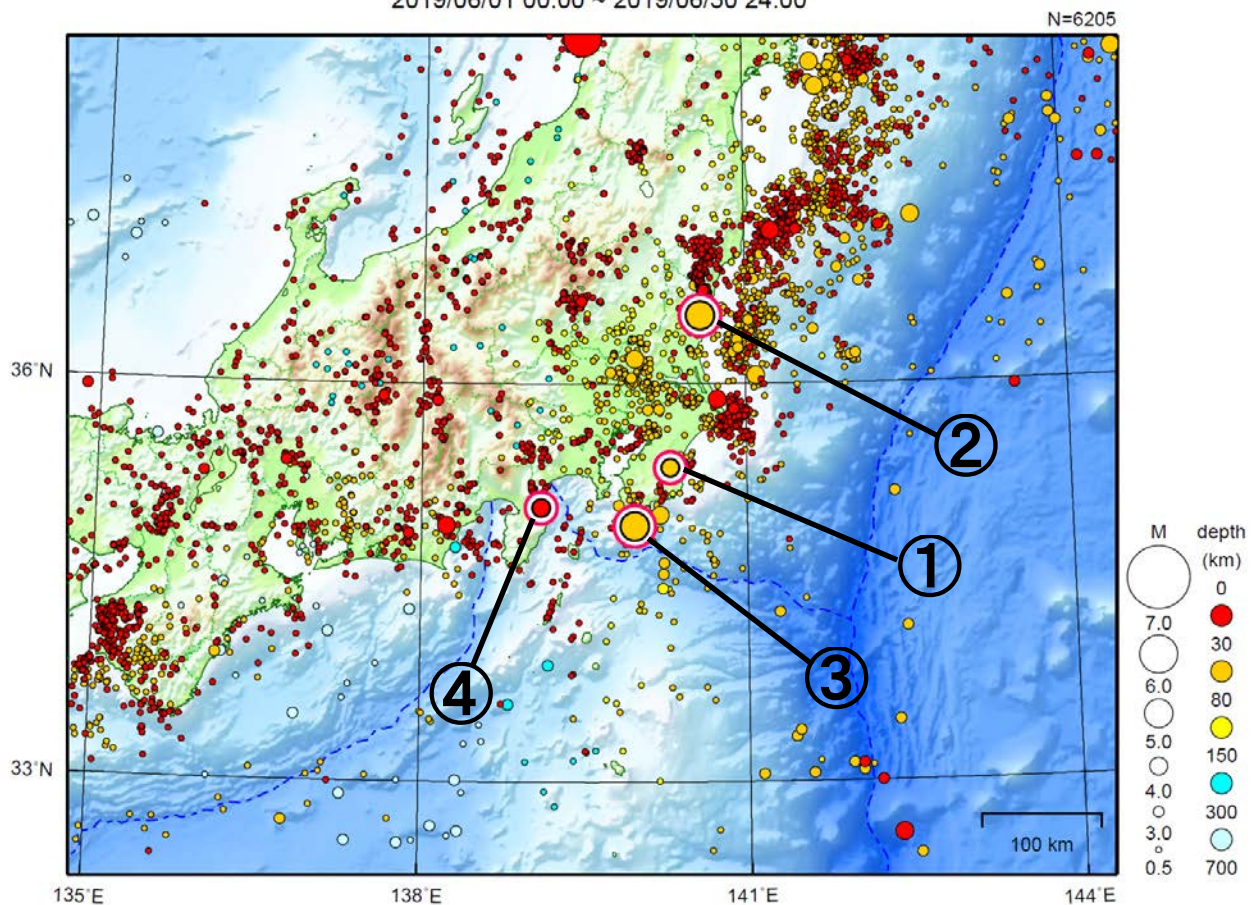


関東・中部地方

2019/06/01 00:00 ~ 2019/06/30 24:00



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOP030、及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

- ① 6月1日に千葉県北東部で M4.7 の地震（最大震度4）が発生した。
- ② 6月17日に茨城県北部で M5.1 の地震（最大震度4）が発生した。
- ③ 6月24日に千葉県南東沖で M5.2 の地震（最大震度4）が発生した。
- ④ 6月24日に伊豆半島東方沖で M4.1 の地震（最大震度4）が発生した。

（上記領域外）

6月4日に鳥島近海で M6.2 の地震（最大震度4）が発生した。

〔上述の地震は M6.0 以上または最大震度4 以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3 以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3 以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

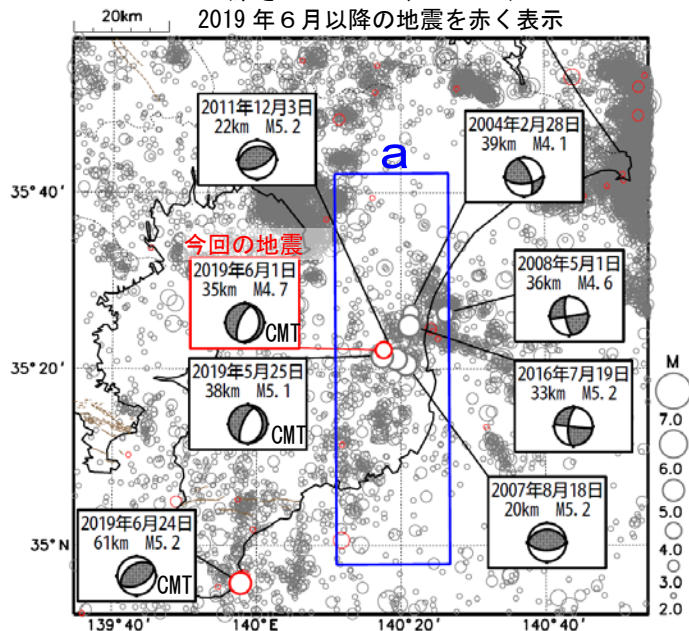
気象庁・文部科学省

6月1日 千葉県北東部の地震

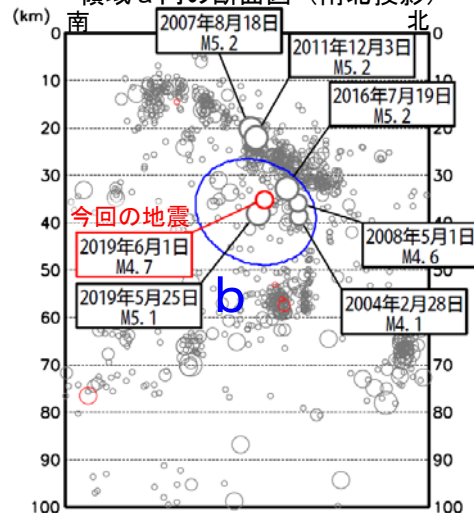
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)

2019年6月以降の地震を赤く表示



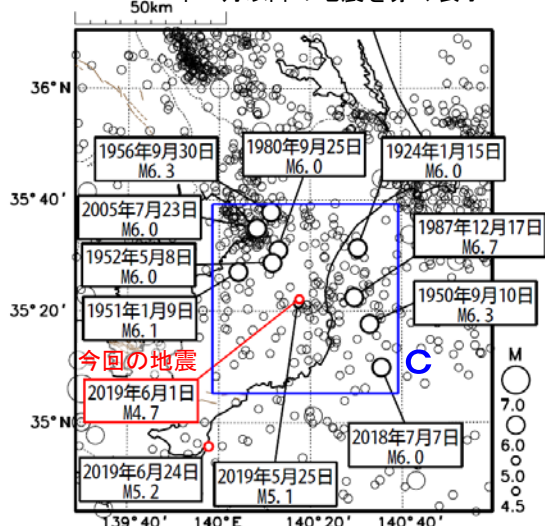
領域a内の断面図（南北投影）



震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～100km、 $M \geq 4.5$)

2019年6月以降の地震を赤く表示

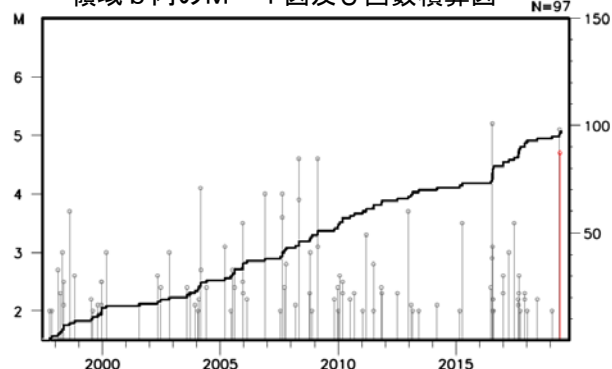


2019年6月1日07時58分に千葉県北東部の深さ35kmでM4.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。なお、この地震の1週間前の5月25日15時20分にもほぼ同じ場所の深さ38kmでM5.1の地震（最大震度5弱）が発生し、軽傷者1人の被害が生じた（6月3日現在、総務省消防庁による）。

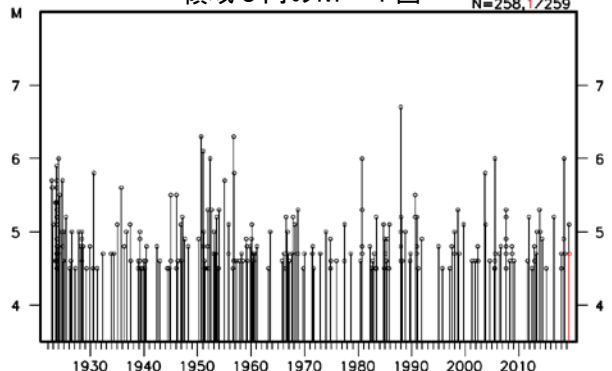
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、あまり地震活動が活発ではないものの、M4.0からM5.0程度の地震が時々発生しており、2016年7月19日には、深さ33kmでM5.2の地震（最大震度4）があった。なお、今回の地震の震央付近では、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界におけるゆっくりすべりに伴い、まとまった地震活動が時々みられる。今回の地震は、これらの地震活動よりも深い位置で発生した。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。1987年12月17日に発生したM6.7の地震（最大震度5）では、死者2人、負傷者161人、住家全壊16棟、住家半壊102棟、住家一部破損72,580棟などの被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

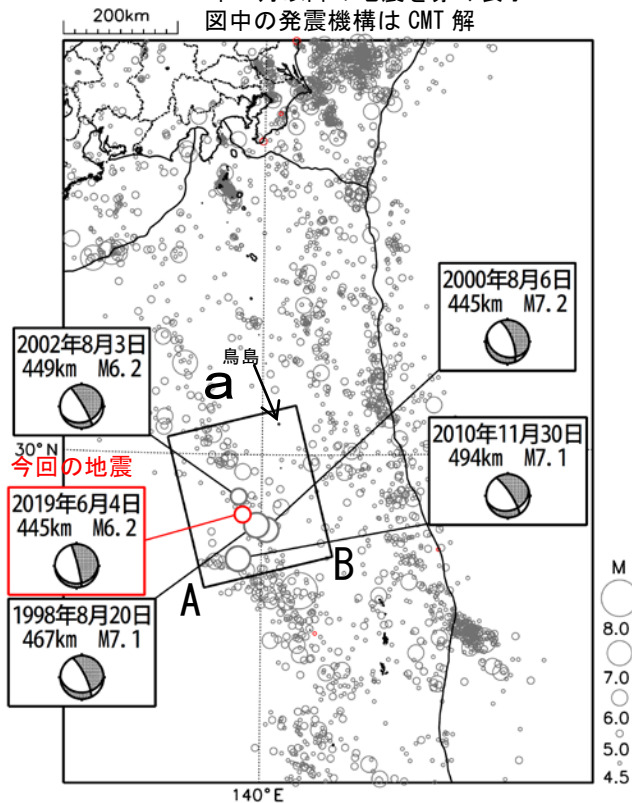
気象庁作成

6月4日 鳥島近海の地震

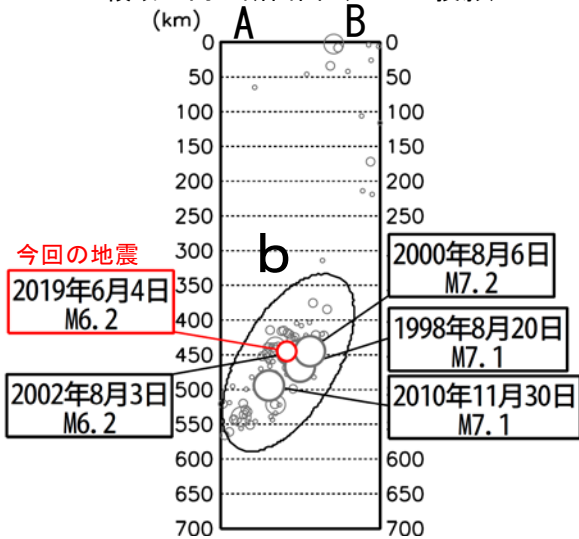
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 4.5$)

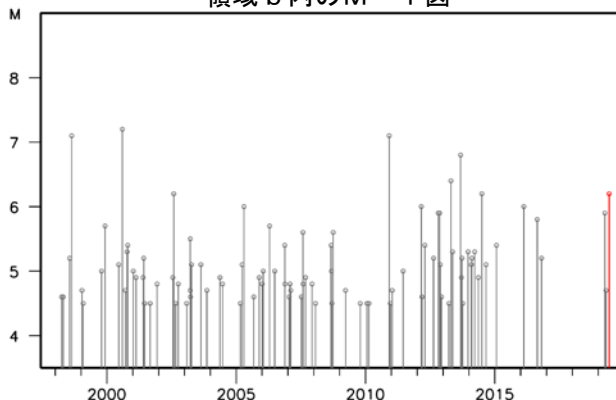
2019年6月以降の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図



2019年6月4日13時39分に鳥島近海の深さ445kmで $M 6.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。この地震により、小笠原村母島で震度4を観測したほか、東北地方から小笠原諸島にかけて震度3～1を観測した。この地震の発震機構 (CMT解) は、太平洋プレートの沈み込む方向に圧力軸を持つ型で、太平洋プレート内部で発生した地震である。

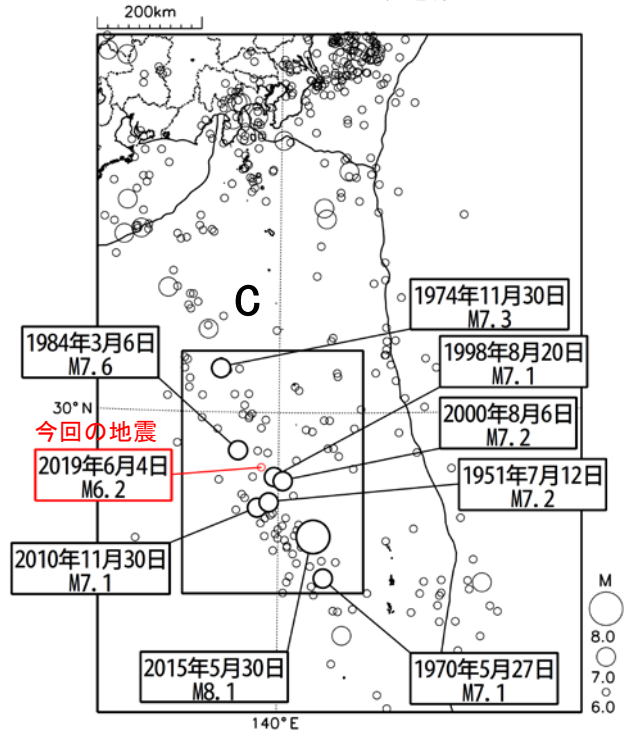
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、 $M 6.0$ 以上の地震が時々発生しており、2000年8月6日に $M 7.2$ の地震 (最大震度4) が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、 $M 7.0$ 以上の地震が時々発生している。1984年3月6日に $M 7.6$ の地震が発生し、死者1人、負傷者1人等の被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

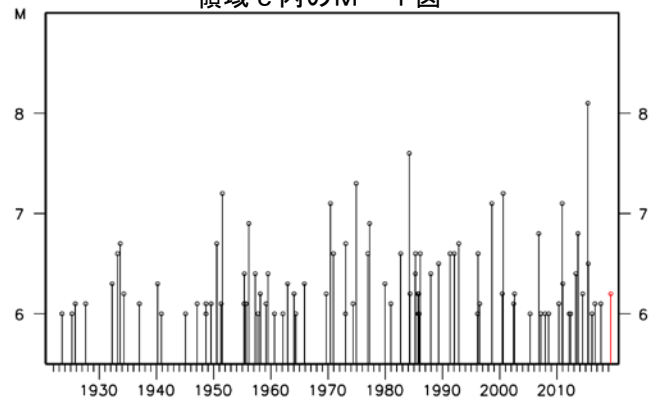
震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～700km、 $M \geq 6.0$)

2019年6月以降の地震を赤く表示



領域c内のM-T図



気象庁作成

6月17日 茨城県北部の地震

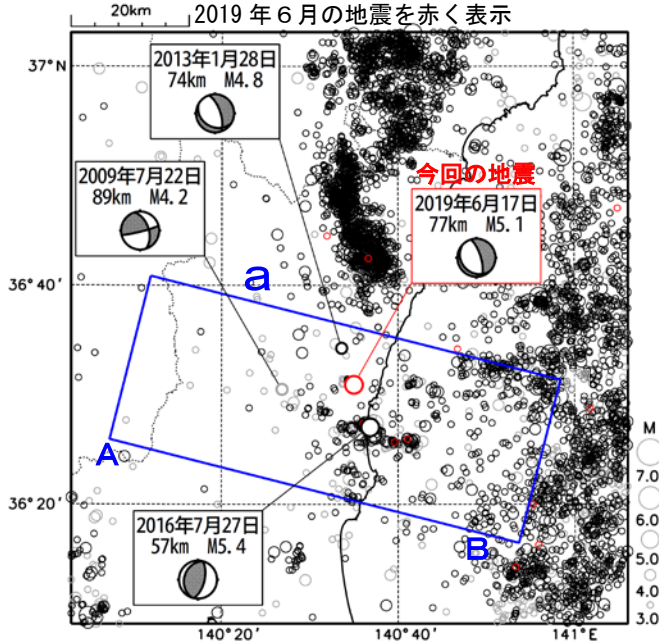
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 3.0$)

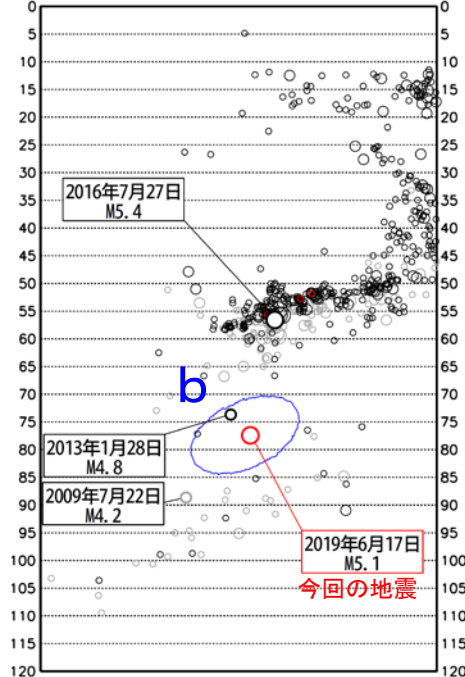
2011年3月11日14時45分までの地震を薄く表示

2011年3月11日14時46分～2019年5月31日の地震を濃く表示

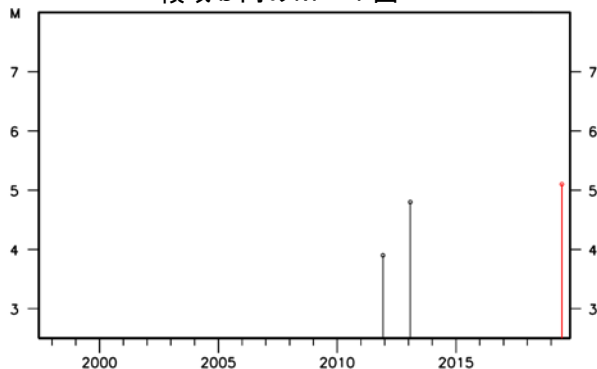
2019年6月の地震を赤く表示



(km) A領域a内の断面図 (A-B投影) B



領域b内のM-T図



2019年6月17日8時00分に茨城県北部の深さ77kmでM5.1の地震(最大震度4)が発生した。この地震は、発震機構が東北東-西南西方向に張力軸を持つ正断層型で、太平洋プレート内部で発生した。

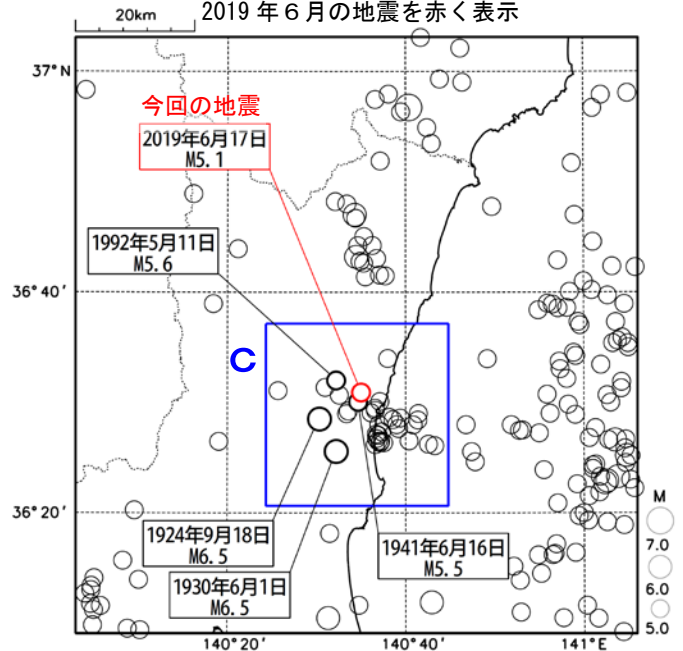
1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震は、2016年7月27日のM5.4の地震(最大震度5弱)をはじめとした普段地震が多く発生している領域よりも深い所で発生した。この地震の震源付近(領域b)では、2013年1月28日にM4.8の地震(最大震度5弱)が発生している。

1922年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺(領域c)では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。1930年6月1日のM6.5の地震(最大震度5)では、がけ崩れ、煙突倒壊などの被害を生じた(「日本被害地震総覧」による)。

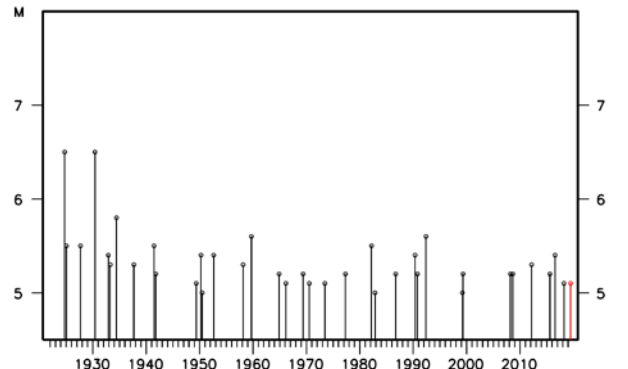
震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)

2019年6月の地震を赤く表示

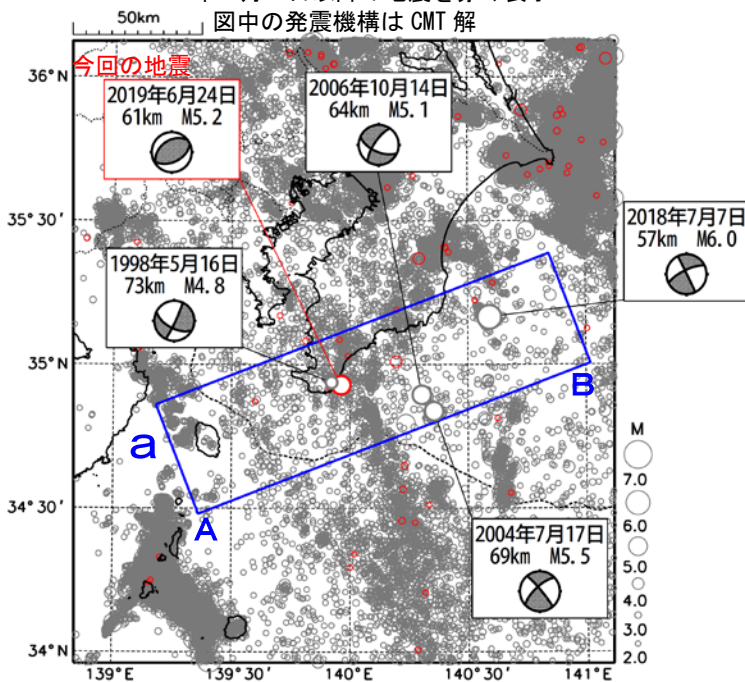


領域c内のM-T図



6月24日 千葉県南東沖の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 2.0$)
2019年6月1日以降の地震を赤く表示
図中の発震機構はCMT解

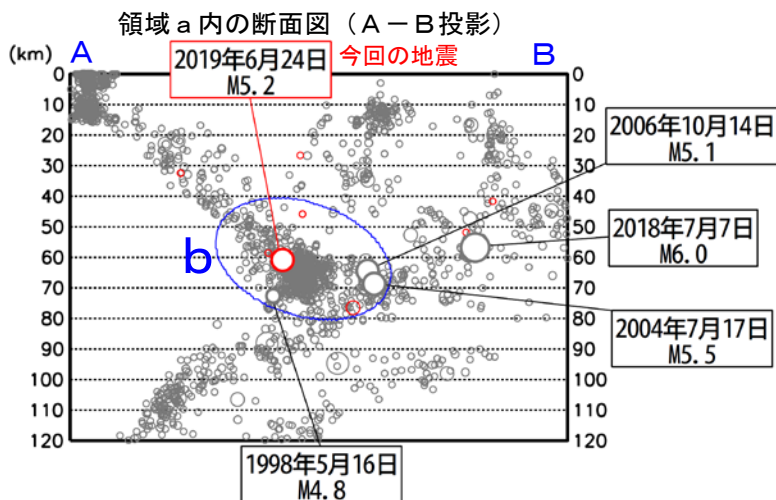
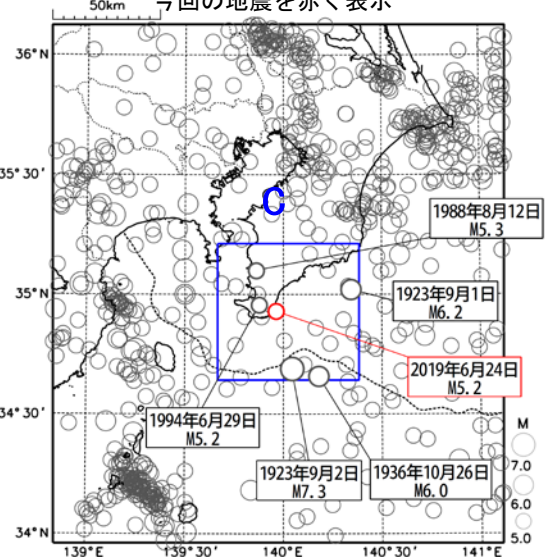


2019年6月24日09時11分に千葉県南東沖の深さ61kmでM5.2の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、発震機構（CMT解）が北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレート内部で発生した地震である。

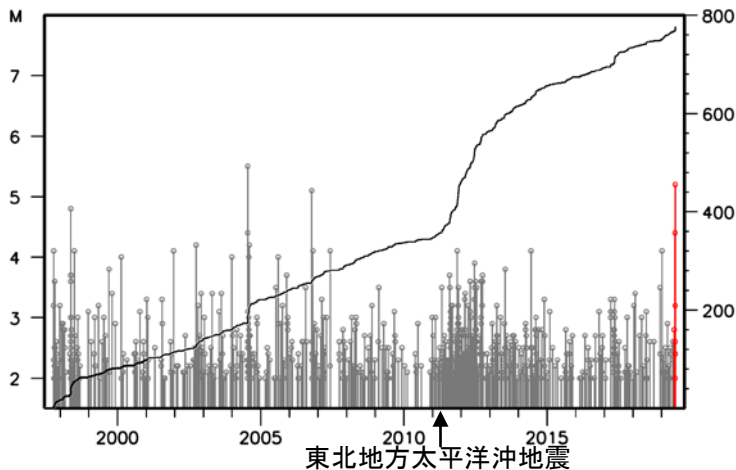
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M4から5程度の地震がたびたび発生しており、今回の地震と震央が近いところでは、1998年5月16日に深さ73kmでM4.8の地震（最大震度3）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M5.0以上の地震がたびたび発生しており、1923年に発生した関東地震の余震（9月1日のM6.2及び9月2日のM7.3）のほか、1936年10月26日のM6.0の地震が発生した。

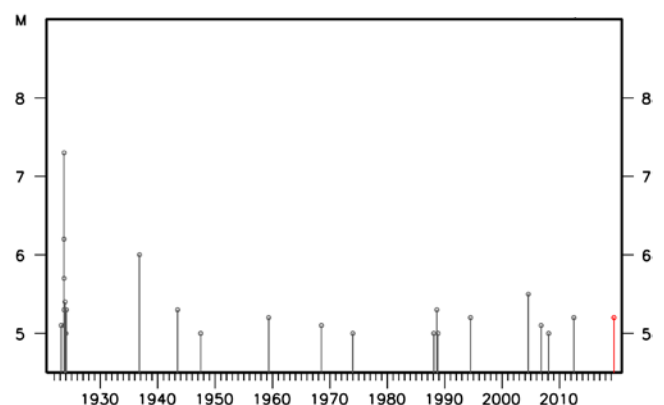
震央分布図
(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～120km、 $M \geq 5.0$)
今回の地震を赤く表示



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図

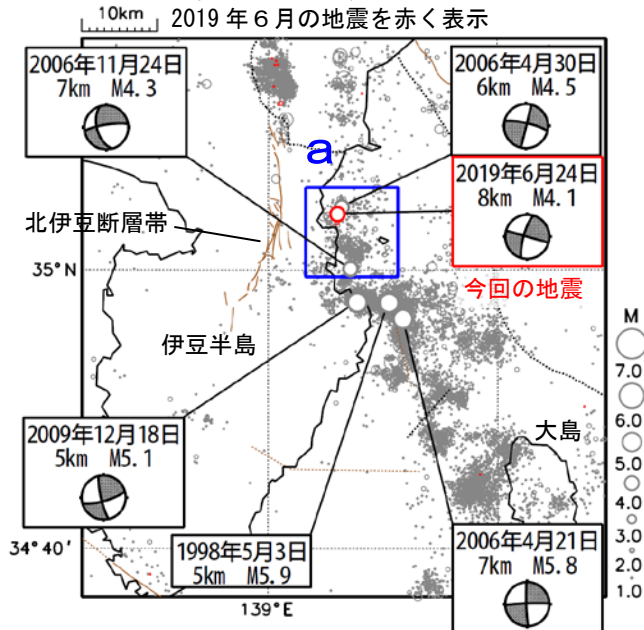


6月24日 伊豆半島東方沖の地震

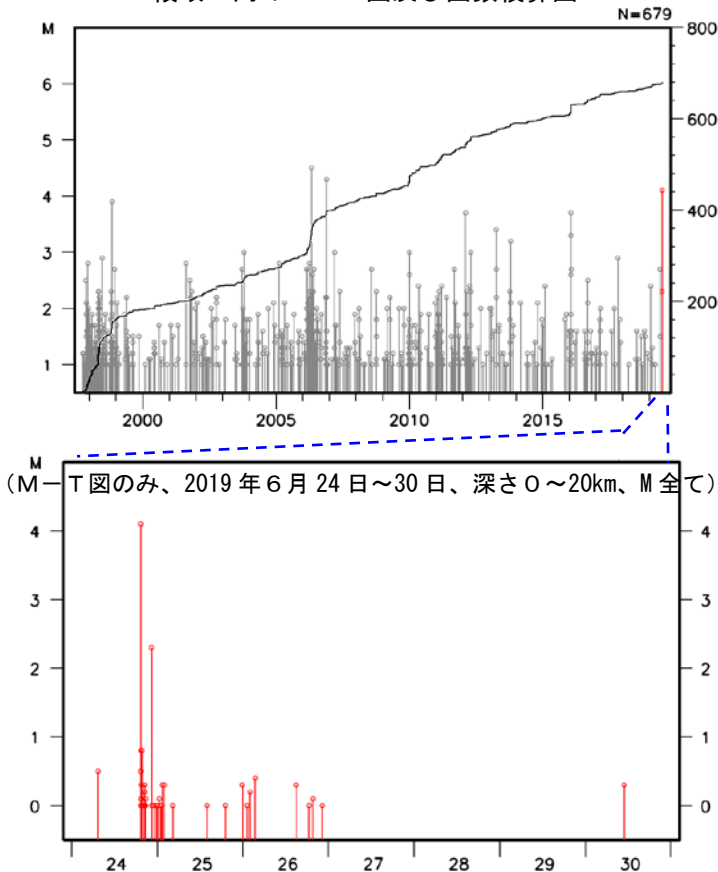
震央分布図

(1997年10月1日～2019年6月30日、
深さ0～20km、 $M \geq 1.0$)

2019年6月の地震を赤く表示



領域a内のM-T図及び回数積算図



震央分布図中の茶色の細線は、地震調査研究推進本部の長期評価による活断層帯を示す。

2019年6月24日19時22分に伊豆半島東方沖の深さ8kmでM4.1の地震（最大震度4）が発生した。この地震は、フィリピン海プレートの地殻内で発生した。発震機構は、北北西-南南東方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型である。

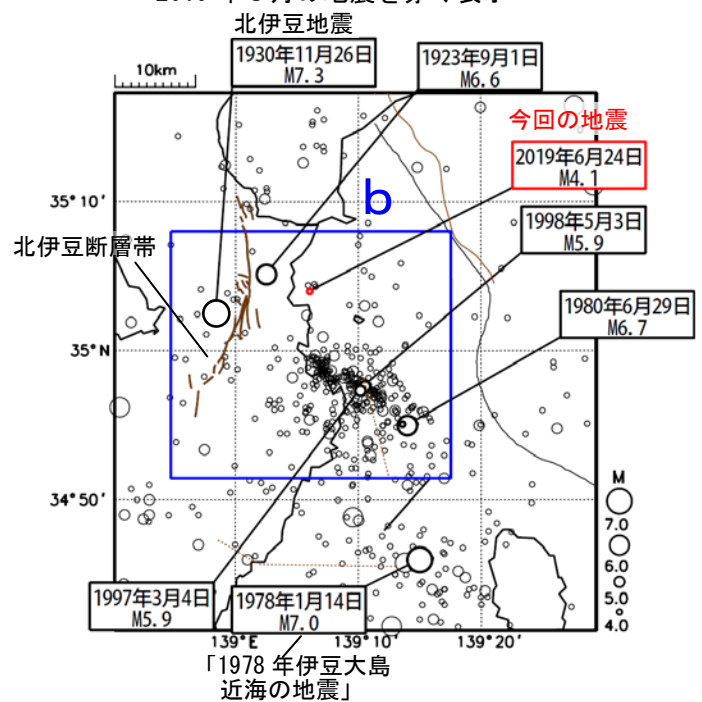
1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）は、定常的に地震活動の見られる領域であり、2006年4月30日にはM4.5の地震（最大震度5弱）が発生した。今回の地震の南側では、伊豆東部火山群のマグマの貫入に伴うまとまった地震活動が時々見られている。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央付近では、1930年11月26日にM7.3の地震（最大震度5）が発生した。この地震により、死者272人、負傷者572人、住家全壊2,165棟の被害が生じた（「日本被害地震総覧」による）。

震央分布図

(1922年1月1日～2019年6月30日、
深さ0～50km、 $M \geq 4.0$)

2019年6月の地震を赤く表示



領域b内のM-T図

